

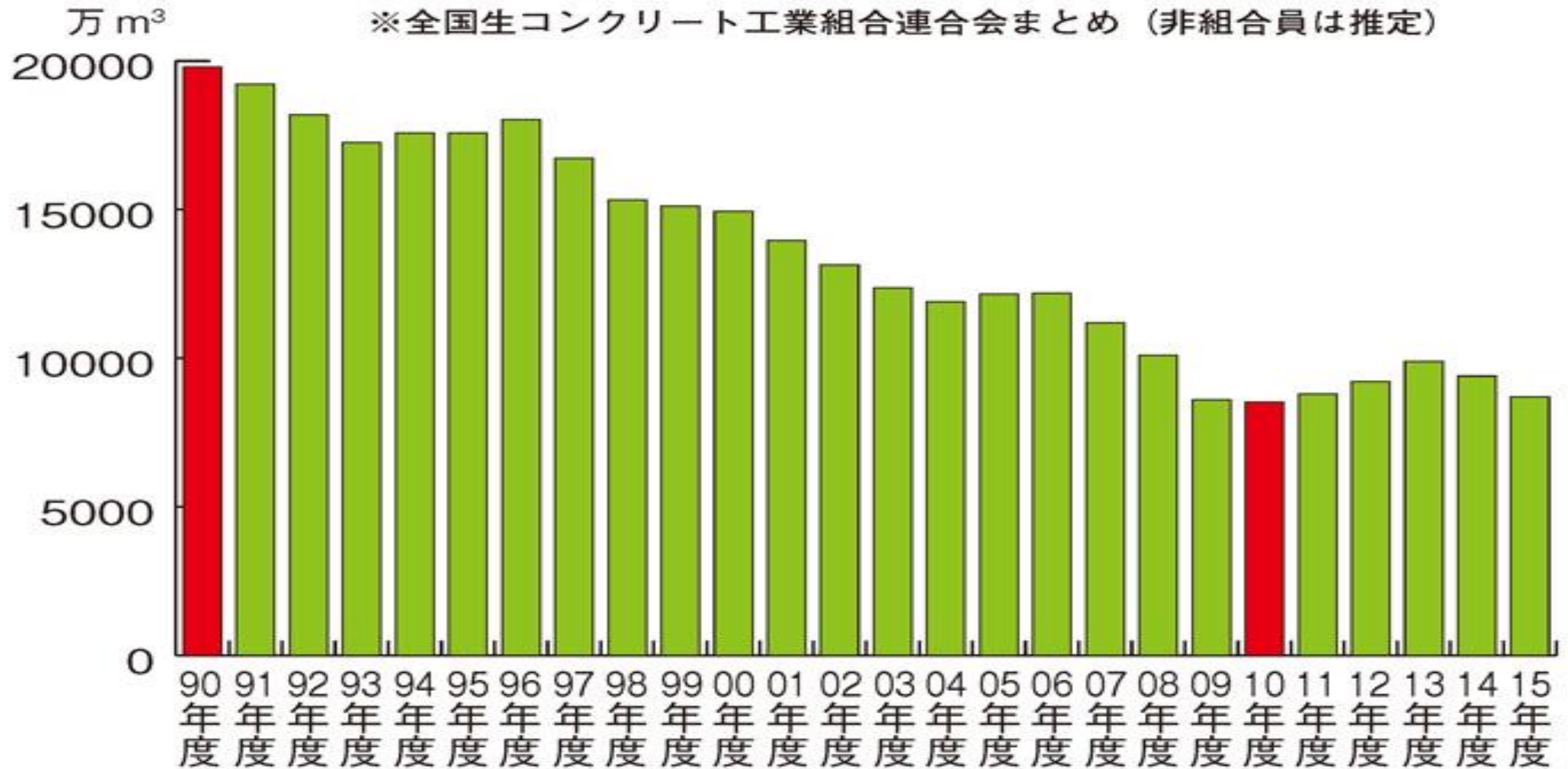
需要バランスとの整合性

生コン集約化の重要性と工夫

炭平コーポレーション 鷺澤幸一

全国の生コン出荷量の推移（会計年度）

※全国生コンクリート工業組合連合会まとめ（非組合員は推定）



需要と供給のバランス

- 需要の減少に応じて、供給も減少する
By アダム・スミス「神の見えざる手」
- 協同組合は独占禁止法除外
- 神の見えざる手は機能しない

⇒ バランスを保つのは供給側の責任 ⇒ 集約化

長野市エリアの生コンの歴史

- 1990年 長野生コン協同組合 15社 15工場 + アウト 3工場
- 1991年 IOC総会で長野オリンピック決定
五輪特需（新幹線、高速道路、五輪施設etc）
仕事↑ 価格↓ 組合崩壊
- 1998年 長野冬季オリンピック
- 2000年 長水生コン事業協同組合 設立 16工場
- 2001年 信州生コン株式会社 設立 12工場 → 5工場

信州生コンの集約化の問題点

集約化されていなかった骨材事業者の選別をしてしまった

- 骨材業者の中から生コン事業に進出する会社が出てきた
骨材事業でも集約化は不可欠であり、時間差の問題だった

需要地への生コン供給サービスを考慮して集約化を進めた

- 山間部など、生コン供給のできないエリアが生じている
集約化は必要だが、空白エリアを補う工夫が必要

空白エリアへの工夫

現地プラント・モバイルミキサー

特定の業者任せでもいいが、組合主導で運用する手段もある

二次製品工場からの生コン出荷

すべての生コンを製造できる設備と需要エリアの相関を検討する

二次製品工場と生コン工場の技術的コラボで可能

（生コン工場の技術・ノウハウを二次製品工場で活かす）

iConstruction対応のコラボ

現場の効率化・少人化・工期短縮化

生コン工場にはアゲンスト、二次製品工場にはフォロー？

生コン業界からも声をあげる、前向きな提案をしなければいけない

- 高流動化
- サイトでの製品製造

(二次製品工場の技術・ノウハウを生コン工場と活かし合う)